

## 提案

日付：2022/7/26

件名：資源物の回収方法

### 1.問題、課題

資源物の回収方法につき、課題、問題点を列挙します。

1、今年の4月から自転車の回収方法が変更となりました。今でも自転車が資源物の日に出されています。ペットボトルのラベルさえはがさなくても良くなったと思われる方もいます。

2、前日から、資源物置き場にネットやコンテナを配布すると、すぐさま近くの住民が前日から近所の迷惑も考えずに出しに来る。

3、衛生指導員が違反ゴミの連絡を町役場に連絡すると毎度、住所等をつたえなくてはならない。

4、こういった町長への手紙は、いつも事務的に済まされてしまう

5、資源物の回収方法を変更してほしい！と声を上げると今すぐには無理。検証も含めてなので時間が係る、と言われる。

### 2.改善案：

1、資源物の回収方法の周知するには、経費が掛かるとわかります。でもその負担が衛生指導員や当番にふりかかっていることを木村町長をはじめ、町役場の方はご存じでしょうか

2、夜に資源物を出しに来られたご家族に声を掛けました。いくらきれいに仕分けして出したとしても、他の人も前日から出してもいいのだという印象を与えてしまい、迷惑も考えずに出してしまう方も出てしまう。最近、こちらに引っ越してきたばかりの方ですか、と聞くと2年前からここに住んでいて、夜からコンテナもあり出している方もいるから大丈夫だと思っていた、とのこと。いくら、寒川町の広報で当日の7時からと歌っても、コンテナがあるから、周りの人が出しているからと考える方が多いのが現状です。

当日朝に資源物置き場に行くと、空っぽのコンテナが重ねられている一番上に、ビンや缶がごちゃまぜに放り込まれている現状。木村町長及び町役場の方は、ご存じでしょうか。

3、毎回、量の多さは変わりますが、必ず違反ゴミが出ます。その都度、環境課へ連絡するたびに、住所を伝えなくてはならない。地区ごとに、資源物の置き場にナンバリングをして、衛生指導員も町役場の方もすぐ把握する方法はできないのでしょうか。

4、何故、何度もうるさく町長への手紙に投稿して変更してほしいと投稿しているのに、毎度同じような返答を頂くたび、なぜ伝わらないのだろう。。。と考えました。机上ばかりの考えで、現状を知らない、もしくは知ろうとしないからだと思いました。そんなことはありません、と返答があると思います。

以前、町役場の近くの資源物置き場に1年を通して衛生指導員として立ち合い、現状を知ってほしい、と投げかけました。その返答は、町職員は多様な任務に従事しているから無理と一掃されました。木村町長及び町役場の方は、町民は暇を持て余している人ばかりとお考えなのではないでしょうか。

5、今すぐには無理とお返事を頂きます。衛生指導員や資源物の回収方法の変更をお願いする声は、文面（町長への手紙）で見る限り、平成30年から上がっていたはずですが、4年、もしくはその前から声が上がっていたはずですが、随分と検証する時間はあったはずですが、問題を先送りにして、何か解決しそうですか。

### 3.改善後の効果：

改善後の効果という項目には当てはまりませんが、、、

田端で行われた試験運用が、他の地域で11月ごろに行われるようです。田端の試験月は今年の2月。アンケート結果がでたのは6月の末ごろ。4か月も結果を出すのに要しています。

予定通り11月に試験運用が行われたとして、アンケート結果が出るまで3月末頃。その結果来年4月は、資源物回収方法は変更できないでしょう。

そのため、来年度も、暇を持て余している町民から衛生指導員を選び出し、重ねられているコンテナに雑に置かれたビンや缶を仕分けすることをやっていかなければならないのでしょうか。

本日、小谷の衛生指導員さんに8時10分前だけれども、雨も強く降ってきたし、人もまばらになったので、もう自宅へ帰られてもいいのではないですか、と声を掛けました。

木村町長、その衛生指導員さんは、なんと答えたと思いますか？

『時間を守って7時から8時まで出してくださいとお願いしているのに、出しに来た人が、誰も立っていないじゃないか、と思われたくないから』とおっしゃっていました。

た。このように黙って真面目にやったださっている人がいるからこそ、これからも何度でも煩く投稿をしていこうと改めて思いました。

ところで、寒川ホームページにもラインにも『新型コロナウイルス新規感染者急増中』と警告が出ています。衛生指導員が立ち合う現状の資源物の回収は、安心安全なのですか！

---

## 回答

<資源物の回収方法>

【所管：環境課】

日頃より寒川町の環境行政にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

衛生指導員さんや当番の方には、置場において分別指導等を行っていただき、大変な業務を担っていただいていることは把握させていただいており、感謝しております。

町としても引き続き広報などを通して分別ルールとともに収集日当日のごみ出しの徹底を周知啓発してまいります。

資源物置場をすぐに把握できる方法として地区ごとのナンバリングをご提案いただきました。現状は、間違いが起これないように、住所をお伝えいただき地図を広げて確認しています。すばやく正確に場所を把握し置場をイメージするためには、住所でお伝えいただくのがいいのか地区ごとのナンバリングがいいのか、検討させていただきます。

ごみや資源物の収集方法や衛生指導員制度について、ご意見をいただいておりますが、これまでも必要に応じてアンケートを実施し、多くの町民の方のご意向の把握に努め、収集方法につきましては、試験運用などをおし、さまざまな観点から今後どのようにしていくかを判断していく考えであります。

また、衛生指導員制度につきましては、分別の手助けや協力だけでなく、資源循環のために分別や正しい出し方の大切さを知って頂くためにも多くの方に衛生指導員を経験していただきたいと考えておりますので、すぐに制度を廃止するということは考えておりません。

現状におきましては、このような方針に変更はありませんので、同じようなご意見、ご質問であれば、同じような回答となることをご理解ください。

検証を経て収集方法や制度を大きく変更しようとする場合には、方針を決めてから、実施に至るまでに町民の皆さんに対して丁寧に説明し、ご理解をいただくための時間や、町議会への説明と予算が必要であれば予算審議の時間も必要となりますので、「今すぐに」という対応ができないこともご理解ください。

町としましては、忙しい中、町の方針をご理解いただき、衛生指導員さんの役割を担ってくださっている方々に感謝しており、町民は暇を持て余している人ばかりと考えたことはありません。

これまでの回答の中で町の方針、またその方針に対して一生懸命にご協力いただいている方々がいることについて、ご理解いただけないことが誠に残念であります。

新型コロナウイルス感染症対策については、マスクの着用などを町広報やホームページなどで町民の皆様へお願いしておりますが、資源物収集日におきましても基本的な対策を実施していただきますよう、お願いいたします。